

事前評価個表

整理番号	80
------	----

地域（地区）名	筑後・矢部川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	福岡県	対象市町村	久留米市ほか6市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>筑後・矢部川計画地は、県の南部に位置し、耳納山地や釈迦岳山地、古処山地等が連なっている。これらを水源にして、矢部川と筑後川があり有明海に注いでいる。農業、工業用水や生活用水の水源として多目的に利用されている。</p> <p>計画地の総面積165,946haのうち、森林面積は66,771ha（森林率40%）であり、その内訳は国有林4,158ha、民有林62,553haとなっている。また、計画区内の林道延長は583km、林道密度は9.4m/haとなっており、このほかに林道等の支線としての作業道が整備されている。</p> <p>県の森林率45%に比べるとやや低いが、人工林率は78%と高く、本県有数の林業地帯を形成し、福岡都市圏などの重要な水源林地帯となっている。自然条件に恵まれており、山林用苗木の産地を形成するなど、スギを中心に積極的な林業活動が行われ、森林整備だけでなく、木材製品供給においても主要拠点となっている。</p> <p>また、10齢級以上の森林面積が増加しており、高齢級の森林を含めた間伐等の森林整備の推進は最も重要な課題となっている。</p> <p>このため、筑後・矢部川流域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び森林作業道の整備を推進する必要がある。</p> <p>ついで、本計画に基づき、森林組合・市町村を事業主体の中心として、必要な森林の整備を行い、持続可能な森林経営の推進を図ることで、本県一の林地生産力を活かした木材生産だけでなく、水源かん養等の多面的機能の持続的な発揮に繋げる。</p> <p>なお、農耕地の多くが森林に接近していることから、農林業の振興、農林道の整備において関係部局との連携を図っている。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：10,885ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：3,776,995千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 10.05 (総便益(B) = 55,040,289千円、総費用(C) = 5,472,699千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の状況及び、森林の蓄積状況をみて必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：優良材の安定的生産のための適切な森林作業道が整備されること、計画的な森林整備による水源かん養、国土保全等の機能が確保されることにより有効である。</p> <p>森林の公益的機能は、一度喪失すると回復に長い期間と膨大な費用・労力を必要とすることから、適時適切な施業を計画的に実施することが不可欠である。</p> <p>本計画は、森林の公益的機能と木材生産の向上を図る適切な森林整備であり、効率性・有効性が認められている。</p> <p>このため、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 筑後・矢部川

福岡県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	20,804,843	
	流域貯水便益	4,741,647	
	水質浄化便益	8,094,922	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,696,836	
	土砂崩壊防止便益	483,649	
環境保全便益	炭素固定便益	3,904,691	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	6,313,701	
総 便 益 (B)		55,040,289	
総 費 用 (C)		5,472,699	
費用便益比	$B \div C = \frac{55,040,289}{5,472,699} = 10.05$		

森林環境保全整備事業 筑後・矢部川地域（福岡県） 概要図

